

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日 2018年 1月 26日	
派遣プログラム	■HUSA □USAC □UMAP
留学先大学	ユバスキュラ 大学 (国名:フィンランド)
所属学部・学科等名	教育学部
在籍身分	交換留学生
留学期間	2017年8月2日～ 2018年1月2日

### 1. 留学するまで

留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	フィンランドの文化や教育について興味があったから。 留学を通して英語力をつけたいと思ったから。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	半年ほど前から。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	TOEFL のテストを早めに受けておくこと。

### 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類：在留許可書
	ビザ申請先：フィンランド大使館
	提出書類：受け入れ機関からの入学許可書、大学の在籍証明書、銀行残高証明書、海外旅行保険契約証明書、申請料金
	手続きに要した日数：2～4 週間
その他必要な事前手続き	フィンランド大使館にて、指紋採取。
出国年月日	2017年8月2日
経路(往路)	福岡空港からヘルシンキ空港まで直通
現地での出迎え	■有(大学関係者) □無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	■有(期間：8月3日 内容：学生証の取得方法、授業の取り方など) □無
帰国年月日	2018年1月2日
経路(復路)	ヘルシンキ空港から羽田空港まで直通

## 3. 留学費用について

支出額	総額		約 55万 円
	内訳	渡航費（往復）	11万 円
		ビザ申請手数料	2万 円
		予防接種費用	0 円
		保険料	5万 円
		教材費（授業料以外の学費）	0 円
		宿舍費（住居費）	17万 円
		光熱費	0(宿舍費に込み) 円
		食費	10万 円
		通信費（インターネット・携帯）	2000 円
		交通費（宿舍ー大学間）	2000 円
		交際費	3万 円
		その他（ 旅行 費）	10万 円
（ 費）	円		
（ 費）	円		

## 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	履修した科目（Survival Finnish, Academic English Communication 1, Big and Small talk about Finland, Learning environments enhancing student-involving interaction）
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	所属学部に関係なく、他の学部の授業を履修することが出来るので、履修期間にしっかりと調べて、自分の取りたい授業を取るようになしてください。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など）	授業は不規則なスケジュールとなっているものもあるので、気をつけて下さい。先生に事前に相談すれば、多少授業が被っていても大丈夫です。

## 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 16 m <sup>2</sup>	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（ 2 人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり 250 ユーロ	(現地通貨)	約 3万3千 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	学生アパートから大学までは自転車で通うのが一番良いと思います。(約15分)		

(2) 医療について	
保険の加入先	■本学指定の保険    □留学先大学指定の保険    □その他 (                      )
保険の補償内容	補償額 死亡    10,000,000 円、 その他 (                      )
留学前後での予防接種 の必要の有無	□有 (種類:                      回数:                      医療機関名:                      ) ■無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	良い。留学生用の病院が学校から徒歩 15 分くらいのところにありました。
留学先での健康管理、衛生 面について特に注意 すべきこと	冬は日照時間が短いので、ビタミンDをサプリメントでとり、友達と遊んで、鬱にならないように気をつけて下さい。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
特にありません。フィンランドの治安はとても良いです。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
学食は安くて、健康的なので、よく利用していました。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
冬はとても寒いので、しっかりした冬用ジャケットを現地で買った方が良いと思います。	
(5) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
学校内はWi-if 環境が整っていました。学生アパートでは、Wi-Fiルーターさえ用意すれば、インターネットが無料で使えます。	
(6) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
Facebook のイベントページをよくチェックしていました。また、ホームステイが出来る、フレンドシップファミリープログラムがあるので、興味がある人は、申し込んだら良いと思います。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
アパートには他の国からの留学生もたくさん住んでおり、知らない人でもみんなお互いに挨拶していました。	

(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの
調味料（現地で買うことが出来るものもたくさんありますが、持っていた方が安くて良いと思います。）
(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス
自転車を購入する場合は、Second hand shop か、Facebook の Jyvaskyla Second hand Items のページから購入するのが良いと思います。

<b>6. 帰国後の進路について</b>	
卒業予定年月	2020 年 3 月（当初の卒業予定年月 2019 年 3 月）
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他（長期インターンシップに参加したい為。）
現在の状況および今後の予定・進路等	1 年間休学後、一般企業に就職。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	4 年間で卒業したい場合には、2 年次に留学に行くのが良いと思います。

<b>7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細（出版社、URL 等）	コメント
特にありません。		ユバスキュラ大学に留学する場合、広島大学に「広島フィンランドクラブ」というサークルがあるので、そこで留学に必要な情報をたくさん得ることが出来ると思います。

<b>8. 後輩へのメッセージ</b>
フィンランドのユバスキュラ大学はヨーロッパ、特にドイツからの留学生が多かったです。常に英語を話す環境にすることが出来るので、英語力を伸ばしたい人へもおすすめの留学先です。ベリー狩りに行ったり、湖で泳いだり、サウナに入ったり、日本では出来ないような経験をフィンランドでしっかり楽しんで下さい。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

留学を終えて一番感じたことは、留学の楽しさです。ユバスキュラ大学は留学生に対しての支援が手厚く、渡航後、生活の中で大きな問題を抱えることは全くありませんでした。また、留学生向けのイベントをたくさん行っている為、ユバスキュラ到着後、すぐに友達を作ることが出来ました。そのおかげで、留学終了までホームシックになることなく、留学生の友達やフィンランドと日々の生活を楽しむことが出来ました。授業では、所属学部以外の授業も履修することが出来る為、広島大学では履修しないような授業もたくさん受講しました。また、授業形式も広島大学での授業と少し違い、講義が中心ではなく、グループワークやディスカッションが中心であり、それも楽しかったです。

留学期間中、最も印象に残った出来事は、「お別れパーティー」です。半年前に出会ったとは思えないほど濃い時間を共にした、友達とお別れをする時間が悲しい一方、たくさんの国の人たちと友達になることが出来て嬉しい気持ちも混じり、忘れられない思い出となりました。

留学前と比較して成長した点は外国人と仲良くなるのが以前よりも得意になったことと、英語で話すことが上達したことだと思います。どういうフレーズで会話を始めるのか、どういう方法でコミュニケーションをとるのか、どういう話題が会話の中で好まれるのか（もちろん人によって違いますが、、）が留学生として5カ月間生活を送っていると次第に分かってくるようになり、日本に帰国した後、以前よりもスムーズに留学生の人と仲良くなれていることに気がつきました。英語で話すことが上達したことは、単に単語力や文法力が上がったことだけではなく、異文化への理解が進み、こういう場合にはこういう言い方やこういうリアクションをとるという日本と外国、特にヨーロッパ圏との違いが分かるようになったことが大きいと思います。

今回の留学での経験を通し、私は海外インターンシップに挑戦したいと思っています。留学を通し、前にも増して海外で働きたい、日本と海外の架け橋になるような役割を仕事の中でしていきたいと思うようになりました。自分の意見をはっきり言う事が当たり前であること、国ごとによってコミュニケーションの取り方が違い、そのやり方を尊重してあげるとより仲良くなれること、英語でのグループワークやグループディスカッションのやり方など、今回の留学を通し、学んだことはたくさんあります。そして、それらはこれからの海外インターンシップでもその他の場面でもとても役立つと思います。海外インターンシップでは、海外で働くということはどういうことか、どんな大変さがあるか、どういった楽しさがあるか、そしてどうすればより国際的な仕事場で上手く仕事をすることが出来るかを学び、将来につなげていきたいと思っています。

